

第391号 令和4年11月

東京都農業会議情報

編集及び発行 (一社)東京都農業会議

渋谷区代々木2-10-12
TEL 03-3370-7146

和歌山市にて生産緑地制度の導入などについて研究

都農業会議は、10月27日28日に農業委員会会長研究会を和歌山市及びWEBにて開きました。

27日は、和歌山市農林水産課より同市における農業振興及び四季の郷公園リニューアル概要が説明されました。続いて、和歌山市農業委員会より同市農業委員会の概要が説明され、和歌山市まちなみ景観課より同市における生産緑地制度が説明されました。

また、和歌山市に生産緑地制度を導入する働きかけを行った市内農業者である貴志正幸氏と、同市に制度導入を導いた農業・農村問題研究者である橋本卓爾氏から、市街化区域での生産緑地制度導入の重要性についてコメントを

農業委員会会長研究会

28日は、現地参加者約40名で、道の駅「四季の郷公園」を現地研究しました。

園内には水の市場（農作物直売所）や土の農園（体験農園）が整備され、道の駅「四季の郷公園」管理者のFOOD HUNTER PARK 野副駅長より、施設の概要が説明されました。



コメントする橋本卓爾氏（左）と貴志正幸氏（右）

東京都農業会議副会長 吉川庄衛氏 旭日双光章を受章

令和4年度秋の叙勲において、(一社)東京都農業会議副会長の吉川庄衛氏（町田市農業委員会会長）が旭日双光章受章の栄に浴されました。

11月15日、東京都庁で「令和4年度秋の勲章・褒章伝達式」が執り行われ、小池東京都知事より勲記勲章が授与されました。ここに御祝いを申し上げます。



旭日双光章を受章した吉川庄衛副会長（左）とご夫人の孝子さん（右）

令和4年度予算補正案などを決定

第2回臨時総会開く

都農業会議は11月17日、立川市のホテルエミシア東京立川において第2回臨時総会を開きました。

議案として、主に農業会議の事務所移転に伴う費用を盛り込んだ令和4年度収支予算の補正案が提出され、原案のとおり決定されました。

令和5年度事業構想などを説明

農委会・農業会議の連携活動を推進 事業推進協議会開く

都農業会議は、11月17日、ホテルエミシア東京立川において第2回事業推進協議会を開き、区市町村、農業委員会、農業団体の代表者など都農業会議の会員が出席しました。

まず、農業会議から令和5年度の事業・予算の構想について説明し、令和5年度以降の会費のあり方についても理解を求めました。

さらに令和4年度下半期農業委員会・農業会議の連携活

そこで、現在の事務所の規模では事務の執行が困難になることから、10月17日に開いた理事会において現在よりも面積の広い事務所に移転することを決定しました。

臨時総会で決定された補正予算は、この移転にかかる費用を見込んだものです。

動の推進について説明し、都市農業・農地の利用促進や農業後継者対策、新規就農者の支援、都市農地貸借円滑化法などの推進について協力をお願いしました。

また、東京都議会において令和4年度第3回定例会補正予算が決定され、東京都農林水産部の渋谷農業基盤整備担当課長ほか、各担当者より事業内容が説明されました。



第2回事業推進協議会のようす

島しょ農業委員会活動の積極的推進に関する決議および

島しょ農業振興施策に関する要望を決定

第33回島しょ農業委員会・農業者大会を開く

島しょ農業委員会協議会（沖山慶孝会長）は、10月6日～7日に、第33回島しょ農業委員会・農業者大会を開きました。

1日目は、沖山会長の開会挨拶に引き続き、都農業会議の吉川庄衛副会長と東京都の農業基盤整備担当課長である渋谷圭助課長が来賓として挨拶をしました。

協議では、「島しょ農業委員会活動の積極的推進に関する決議」および東京都への施策要望である「島しょ農業振興施策に関する要望」を協議し、決定しました（概要は下記の通り）。



挨拶をする沖山会長

研修では、利島村の加藤大樹会長、三宅村の新規就農者であり農業委員でもある神戸晴行委員、八丈町の農地利用最適化推進委員の金田秀彦委員の3人から、それぞれの農業経営や取り組みについて、事例発表がされました。

続いて、株式会社Coportの峯岸祐高社長より、「農産物地域流通」について講演会を開きました。

峯岸社長は、株式会社Coportで取り組んでいる農産物の販売・流通や、地場産農産物を使ったレストランの展開、農家民宿の取り組み、また新規就農者との繋がりや、島しょ地域で生産されている農産物の展望などについて話しました。

2日目は、あきる野市にて現地研究会を開きました。はじめに、あきる野市農業委員会から、同市の農業や農業委員会活動について説明がされました。

続いて現地に移動し、農業委員の平野久雄委員と田中克博委員の経営を見学しました。



自らの経営を説明する平野氏（中央）と甲野会長（右）

【決議の概要】

- 1. 農地の有効活用の推進
- 2. 農業委員・推進委員の活動記録カードの活用の推進
- 3. 農業後継者等新たな担い手への支援活動
- 4. 農業者や地域住民に向けた情報活動の推進

【要望の概要】

- 1. 持続可能な農業の振興を支援する施策拡充
- 2. 資材等の高騰への支援
- 3. 鳥獣害対策の強化
- 4. 農地保全と利活用の促進対策
- 5. 担い手の育成・確保支援
- 6. 農産物の消費拡大支援
- 7. 農業経営のリスク回避のための支援
- 8. 農業改良普及事業等の強化
- 9. 農業関係組織等への支援

理事会・常設審議委員だより

10月理事会

10月17日に町田市の町田市文化交流センターで開きました。議事として、提案した①事務所の移転について、②令和4年度第2回臨時総会の開催日時及び場所について、③令和4年度第2回臨時総会の提出議案である令和4年度収支予算の補正案について、それぞれ提案どおりに決定しました。

第7回常設審議委員会

理事会に引き続き、同会場で開きました。①農地法第4条・第5条の農地転用許可（9月）の状況について東京都から報告（農地法第5条1件）がされたほか、②農地中間管理権の取得と農地利用配分計画の設定（10月）の状況について、農地中間管理権の取得と農地利用配分計画の決定及び使用収益権の設定の状況を事務局から報告しました。

第8回常設審議委員会

11月17日に立川市のホテルエミシア東京立川において開きました。①農地法第5条の規定に基づく瑞穂町農業委員会諮問について審議し、許可相当と認める旨回答することを決定しました。

第7回常設審議委員会

②農地法第4条・第5条の農地転用許可（10月）の状況について東京都から報告（農地法第4条1件、農地法第5条4件）がされたほか、③農地中間管理権の取得と農地利用配分計画の決定及び使用収益権の設定（11月）の状況について、農地中間管理権の取得と農地利用配分計画の決定及び使用収益権の設定の状況を事務局から報告しました。

協議では、第62回企業の農業経営顕彰事業並びに第42回農業後継者顕彰事業の受賞者を決定しました。

また、農業資材高騰対策補助金と堆肥等利用促進事業補助金に関する情報提供を行ったほか、あわせて12月1日に開催される全国農業委員会会長大会の開催要領について説明しました。

厚木市の新規就農の取組などを研究

都農委会職員研究会・神奈川県農委会事務研究会と共催

東京都農業委員会職員研究会（岸幸夫会長 板橋区）と神奈川県農業委員会事務研究会（山本浩由会長 座間市）

は、このほど共催で、農業委員会職員現地研究会を開き、東京都からは約20人、神奈川県からは約25人、総勢約50人が参加しました。

本研究会は、都市農業などの共通の農業を有する東京都と神奈川県の農業委員会職員が一堂に会し、お互いの取り組みや業務上の課題などについて、意見を交換するとともに、交流を深めるために開いたものです。

本年度は、10月14日に神奈川県厚木市にて開き、主に厚木市の新規就農の取り組みについて研究しました。

厚木市では、同市の農業の様々な課題に対応するため、厚木市とJAあつぎと同市農業委員会の3者で協定を締結し、厚木市都市農業支援センターを開設しています。

厚木市都市農業支援センターの主な業務は、新規就農者等の支援等、農地の貸借や規模拡大等に関する支援、農

作業の受委託・農業機械のレンタル、鳥獣被害の対応、地産地消の支援などです。

特に、新規就農については、毎年100件近くの相談を受けており、新規就農者はのべ50人以上、耕作面積は29ヘクタール以上となっています。

また、そのほとんどが耕作放棄地や遊休農地であったことから農地の有効活用にもつながっているとのこと。

さらに厚木市では、農地の貸借の面積と貸借期間に応じて、貸人・借人の双方に奨励金を交付する「農地流動化奨励金交付制度」を設けており、都内の農業委員会にとって参考となる研究会となりました。



自らの経営について説明する厚木市の新規就農の宮下寛史氏（左）

青梅市と八王子市で新規参入法人の取組を研究

農業経営の法人化と農地の貸借・雇用の活用研究会開く

都農業会議では11月に「農業経営の法人化と農地の対応・雇用の活用検討会」を都内の農業者や新規の農業参入意向法人や就農希望者などを対象に八王子市と青梅市で開きました。

これは、都内で農地を借りて農業参入する法人や農業経営を法人化する農業経営者が増えていることを受けて、東京都の委託事業を活用して開いたものです。

研究会はまず共通テーマとして、都農業会議より農業経営の法人化と農地の権利取得について説明をしました。農地の権利を取得できる法人の形態について、特に農地の所有権を取得できる「農地所有



「税制における農業経営の法人化」について講演会のような様子



OneFarmの取り組みについて説明する代表の太田太氏（右）

資格法人」の要件、参入事例などについて紹介しました。

また、次の共通テーマとして、「税制における農業経営の法人化」について、税理士法人安心資産税会計の平田税理士による講演会を開きました。

法人化を検討するタイミングやメリット・デメリットについて、個人と法人それぞれの節税方策およびそのポイントについて、具合的な金額イメージをもとに紹介を行いました。

研究では、第1回は青梅市（11月9日）で、2015年に農業参入した（2017年にTYFARMを引き継いだ）OneFarm（カミィ

ノ株式会社）の太田太代表より、多品目野菜生産や養蜂の取り組み、経営方針やその特長について説明を受けました。

第2回の八王子市（11月22日）では、2016年に農業参入した株式会社アーバンファーム八王子の取り組みについて、続橋昌志代表取締役および水野聡取締役より、民間会社を退職して農業参入をした経緯や福祉との連携の多様な取組について紹介がされました。

最後に各法人の農地を見学し、周辺環境、生産品目や生産方法、農地貸借や規模拡大の状況などについて聞きました。

参加した農業者からは「法人化のメリットは？」、「雇用の状況は？」などの質問が投げかけられていました。



（株）アーバンファーム八王子の現地研究

サミットinふくいで清瀬市の

関健一氏が表彰される

第24回全国農業担い手サミットinふくいが「みんなで描こう！農業の未来地図」をテーマに10月20日～21日に福井県で開かれ、全国から約1600人が参加しました。令和4年度全国優良経営体表彰式では、清瀬市の関健一さんが担い手づくり部門で農林水産省経営局長賞を受賞しました。

その後、サンドーム福井に会場を移し、令和4年度全国優良経営体表彰・農林水産大臣賞表彰式が行われました。



表彰を受ける清瀬市関健一さん(右)

非農家出身者の新規就農者が農作物をPR

東京NEO-FARMERS!

都内で新規就農した非農家出身者の集まりである「東京NEO-FARMERS!」がマルシェに取り組み、自らつくった農作物をPRしました。

この取組は、都農業会議が就農定着マネジメント事業(東京都事業)を活用し開いているもので、10月には青梅市の交流都市である杉並区の区役所前で2日間、JA東京アグリパークで5日間販売しました。

後日、マルシェで買った野菜はどこで買えるのかと区民から杉並区役所に問合せもあり、好評を博しました。

後日、マルシェで買った野菜



大盛況だったマルシェ

農業に関する制度の情勢など研究

農業委員会農地部会長・経営部会長研究会を開く

都農業会議は、このほど農業委員会農地部会長・経営部会長研究会を開きました。本研究会は、都市農業と市街化区域以外の農業に関する制度の情勢など研究するため開いたものです。

最初に、農地に関する都市計画関係施策について東京都都市整備局より説明しました。次に、農業体験農園などの

都内の女性委員の活動などを研究

農業委員会への女性登用を推進

国分寺市の女性農業委員の取組みを研究

都農業会議は、このほど11月18日に女性農業委員研修会を国分寺市にて開き、都内の女性の農業委員など約30人が参加しました。

最初に国分寺市農業委員会(田中豊会長)から、国分寺市の農業や農業委員会活動について説明し、その後、同市の女性委員である鈴木弘子委員と笹田弥生委員から委員としての活動や取り組みについて発表がされました。

また、本会から、都内の女性委員の活動や農業委員会への女性登用の全国的な状況などについて説明しました。

取り組みについて全国農業体験農園協会の加藤義松理事長より講演しました。

続いて、市街化区域以外については、農業経営基盤強化促進法等の一部改正について都農業会議から説明し、その後、瑞穂町認定農業者の近藤剛氏より雇用労働力を活用した農業経営などについて講演を行いました。

続いて現地に移動し、同市の中村克之氏の先進的なハウス栽培と、鈴木委員の農業体験農園や花きの農業経営について現地研究しました。



経営について説明する鈴木委員(右)

国分寺市で座談会開く

農地利用状況調査結果などを報告

国分寺市農業委員会(田中豊会長)は、11月に市内3カ所で座談会を開きました。

座談会では、まず①農地利用状況調査の結果、②特定生産緑地の指定が概ね97%であること、③都市農地貸借円滑化法の状況と取り組みなどが報告されました。

その後、都農業会議より都市農地の情勢などを説明し、質疑応答による意見交換が行われました。

12月～1月の日程

- 12・1(木) 全国農委会長代表者集会
- 12・2(金) 西職員検討会
- 12・5(月) 南職員検討会
- 12・9(金) 区内職員検討会
- 12・12(月) 北南職員検討会
- 12・15(木) 北西職員検討会
- 12・19(月) 常設審議委員会
- 12・21(水) 北北職員検討会
- 12・22(木) 農地流動化・利用集積
現地研
- 1・11(水) 区内農委検討会
- 1・13(金) 島しょ農委検討会
- 1・16(月) 西農委検討会
- 1・17(火) 常設審議委員会
- 1・20(金) 南農委検討会
- 1・23(月) 北北農委検討会
- 1・26(木) 北南農委検討会
- 1・30(月) 北西農委検討会